

図書館総合展 「健康医療情報の地域資源としての図書館」

**図書館のもつ資源を活かした  
健康・医療情報サービス  
—逗子市立図書館の取り組みから—**

逗子市立図書館 井元有里

## 神奈川県逗子市

人口 56,950人  
面積 17.28km<sup>2</sup>  
高齢化率 31.38%

海に面して3方は山  
市内2路線・4駅

コンパクトなまち

小学校6校（市立5校）、中学校5校（市立3校）、高校4校（公立2校）  
財政規模 平成30年度一般会計歳入総額 約194億円（うち市税49%）  
総合病院 なし（病院2院（36床）、診療所71院）



データ：逗子市HPより  
（2019年4月1日現在）  
地図：逗子市商工会HPより

# 逗子市立図書館

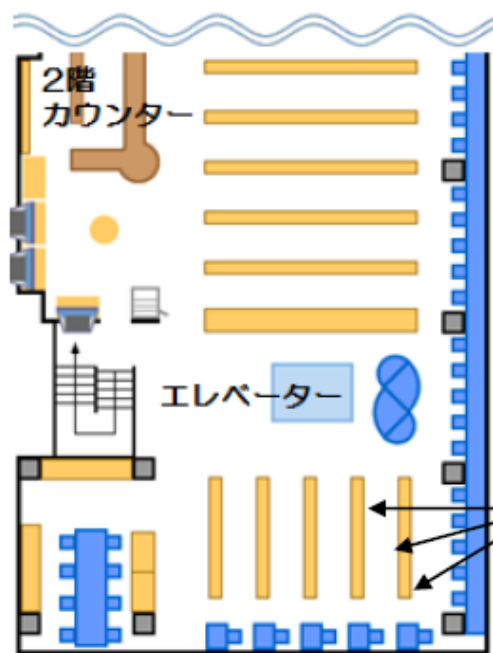


本館（複合施設） および2分室  
蔵書数 約23万冊  
年間個人貸出冊数 48.7万冊  
職員数 館長（司書）・常勤職員2人（司書）  
再任用職員1人・任期付職員4人(司書)  
非常勤職員40人（うち司書16人）

計48人

\* 平成30年度活動報告より 3

## 2階 健康・医療情報コーナー

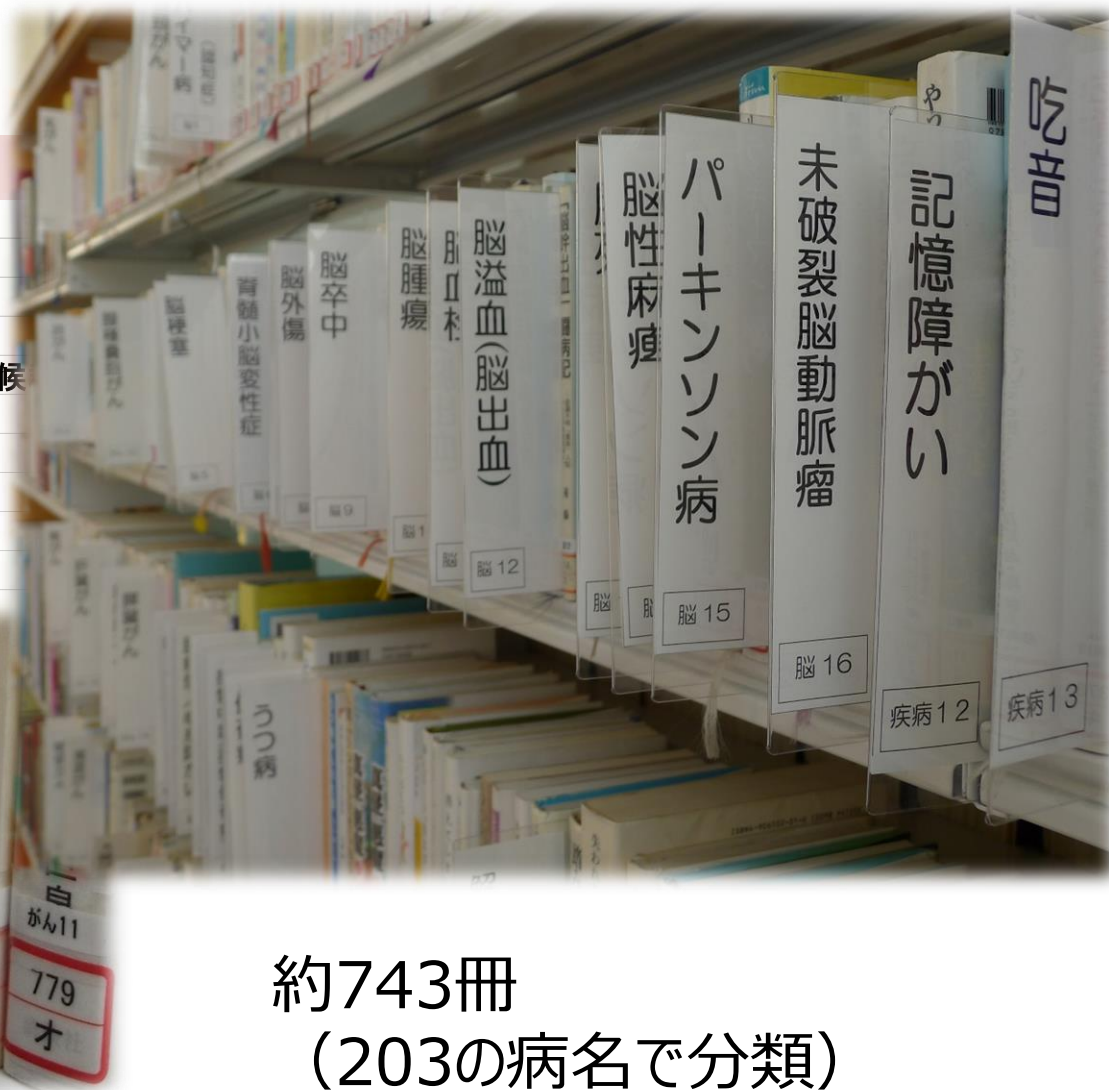


図書 1915冊  
参考図書 108冊  
新聞記事  
パンフレット  
ブックリスト 等



# 闘病記・医療手記

- がん
- 1 乳がん
- 1-2 乳がん・卵巣がん
- 1-3 乳がん疾病
- 1-4 乳がん
- 2 子宮頸がん 1 ADA欠損症
- 3 子宮体がん 2 アトピー性皮膚炎
- 4 卵巣がん 3 アレルギー
- 4-1 卵巣がん 4 院内感染
- 5 睾丸がん 5 エイズ(後天性免疫不全症候群)
- 6 前立腺がん 6 円形脱毛症
- 7 甲状腺がん 7 禿頭症
- 8 肺がん 8 化学物質過敏症
- 9 川崎病
- 10 肝炎
- 11 肝硬変



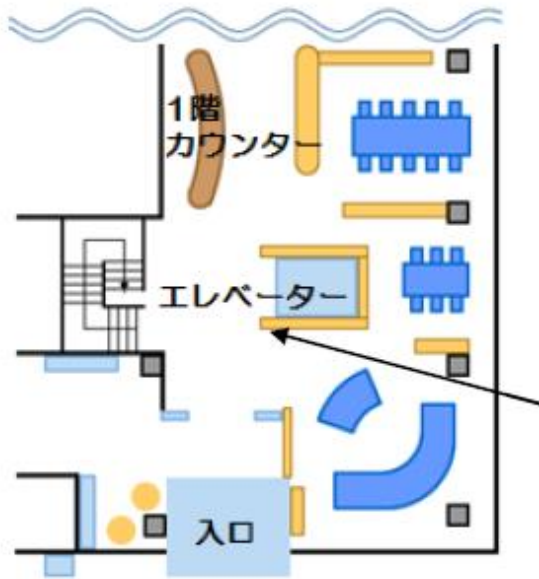
約743冊  
(203の病名で分類)

# 1階 健康・医療展示、雑誌

毎月のテーマ展示

- ・季節に合わせて
- ・関係課との連携

認知症サポートコーナー  
雑誌 3誌



## 図書館と医療福祉の連携プロジェクト 逗子チーム

- ・2014年7月～発足！
- ・最初から現在の形ではなく、徐々に関係者が増えてきた  
→助成金がつき、本格的にプロジェクトを始動

## JST助成事業「がん情報普及のための 医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」

慶応大学文学部

国立がん研究センター  
がん対策情報センター

横浜市立大学付属病院

神奈川県立がんセンター

横浜市立大学附属  
市民総合医療センター

逗子市国保健康課

湘南ふじさわシニアネット

逗子市立図書館

2014年度

医療講演会「胃がんとの遭遇～まさか私が！～」

参加者 50名

横浜市立大学附属病院教授  
逗子市立図書館司書  
逗子市国保健康課保健師  
神奈川県立がん相談支援センター看護師

4者による講演と出張がん相談（相談者7名）



科学技術振興機構 (JST) 助成事業  
逗子市立図書館 健康・医療講演会

## 胃がんとの遭遇 ～まさか私が！～

検査や診断、治療法から病後の生活まで、  
胃がんについての素朴な疑問に、専門家がお答えします。

横浜市立大学附属病院 がん総合医科学  
教授 市川靖史先生

2014年12月12日(金)  
13:00 開場 13:30 開演 15:00 終了  
講演会終了後、出張がん相談あり  
市民交流センター 2階会議室  
定員 50名(事前申込制)

申込方法：図書館カウンターまたは電話  
問い合わせ：046-871-5998

主催 独立行政法人国立がん研究センター、逗子市教育委員会  
協力 逗子市  
後援 横浜市立大学 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン、逗葉医師会



# JST助成事業「がん情報普及のための医療・福祉・図書館の連携プロジェクト」

## 2015年度 ミニシアター

### 「がんとわかったとき やっておきたいいくつかのこと」

参加者 84名

映画上映  
幕間ブックトーク  
寸劇



科学技術振興機構 (JST) 助成事業

逗子市立図書館 健康・医療ワークショップ

## がんとわかったとき やっておきたいいくつかのこと

自分が、家族が、がんとわかったとき  
治療方法やその後の暮らし方にはたくさんの選択肢があります。  
今だからこそ知っておきたいことや、医療情報が  
専門家からわかりやすく学べます。

第1部 映画上映  
「最高の人生の見つけ方」  
ジャック・ニコルソン/モーガン・フリーマン主演  
がん病棟で出会った余命6ヶ月と宣告されたふたりの  
生涯最後の冒険旅行に…。  
人生を悔いなく楽しく生きるのに  
選すぎることは決していない。

第2部 医療の専門家による  
ミニシアター

2015年10月27日(火)  
12:45開場 13:00開演 16:30終了  
文化プラザ1階さざなみホール  
定員100名(事前申込制)

申込方法：電話・FAXまたは図書館カウンターへ  
問い合わせ：046-871-5998

主催 国立研究開発法人国立がん研究センター、逗子市教育委員会  
協力 逗子市  
後援 逗葉医師会

## 2016年度 映像紙芝居 「あるあるカフェ&ミニミニブックトーク」の制作

短く編集した映像で  
図書館・自治体行事等  
様々な場での活用



# プロジェクト参加で考えたこと

図書館ができることは何か？

→自分たちの強み（資源）は何か？

本：本（資料）の蓄積と広がり

人：本と人をつなぐ司書

場：利用者にとっての間口の広さと低さ



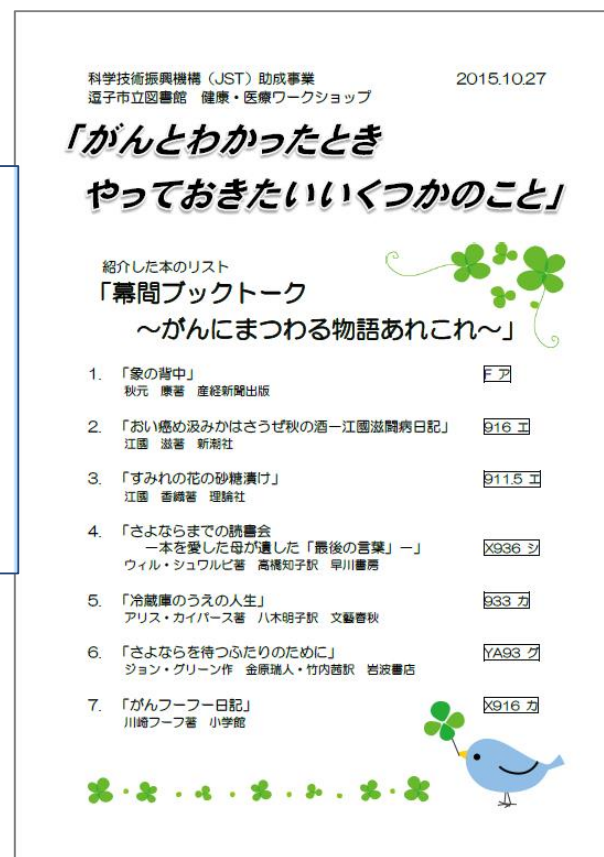
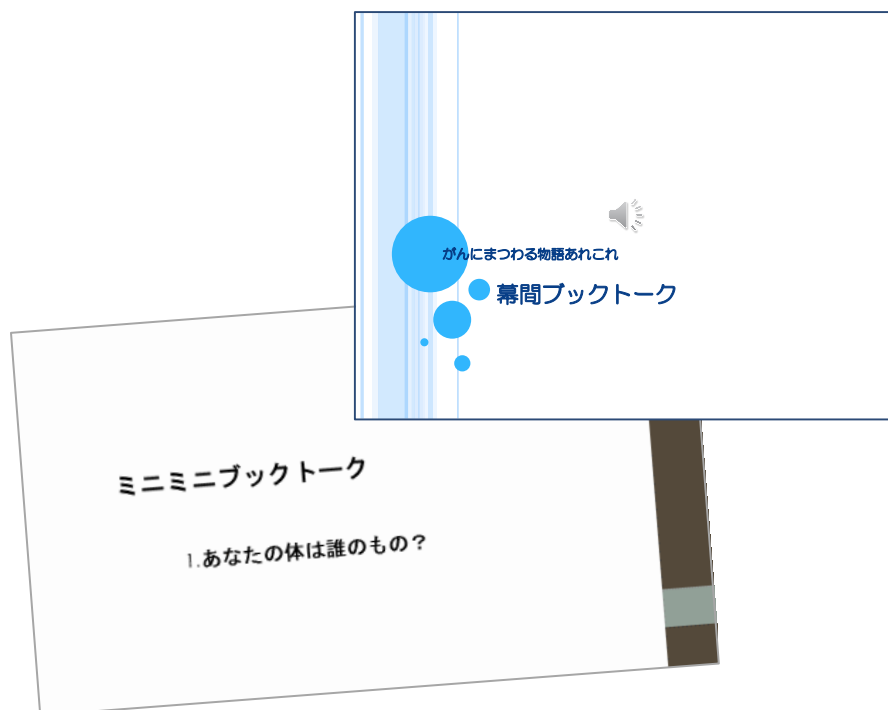
## 目指す健康・医療情報サービス

- ① 誰でも
- ② 気軽に、無理なく
- ③ 正しい情報を得る
- ④ あらゆる資料が活用できる

ための人と場をつくること、働きかけをすること

# ブックトークの試み

- ・「物語」という形で、健康・医療への興味・関心をひく  
→ 共感が興味につながる
- ・間接的に広く紹介
- ・司書のスキルアップ





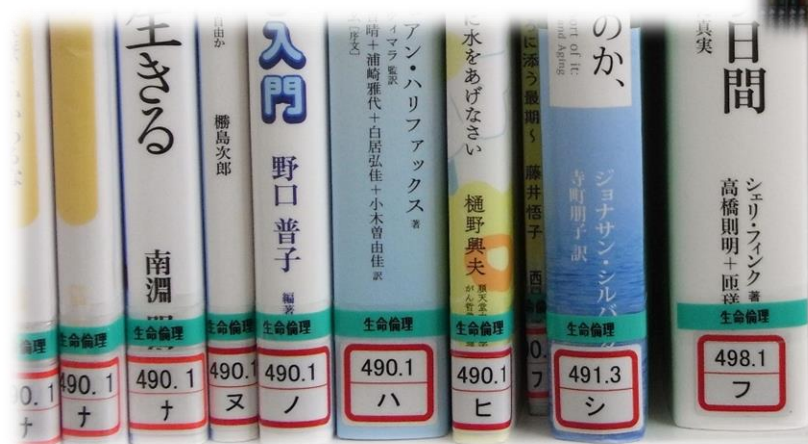
# 生と死を考えるコーナーの新設

- ・医療現場では「死」を直接扱いづらい、との言葉  
→ 図書館では様々な切り口で資料提供ができる
- ・患者本人だけでなく、周辺の人にも利用しやすい

約232冊

5テーマで分類

生命倫理	逝き方
看取り	終活
グリーフケア	



# 逗子市立図書館おさんぽmapの作成

・館内を「散歩」して健康づくりに、健康に生き生き暮らすための情報収集に役立ててもらおう

健康や医療に関する本は ホームページで調べられます



2階に到着！  
一般図書の本棚周りをくまなくぐるぐる歩くと、259mです。  
もう少しがんばって、3階にも足を運んでみませんか。



## 逗子市立図書館 おさんぽ map

～ 図書館ができる 健康づくりのお手伝い ～

図書館の中をお散歩してみませんか？

「運動」「食事」「社会参加」は、健康の3つの柱です。  
図書館で、歩いて「運動」しながら、「食事」や「社会参加」の情報にもふれて日々の健康づくりに役立てましょう！

後7時  
後5時  
※、翌日以後  
休期間、年  
4日）  
内整理日  
4-2-10  
答）



無理は禁物！

逗子市立図書館  
2019年10月改訂版

市内の講座・ボランティア等の社会参加の情報はこちらをどうぞ。

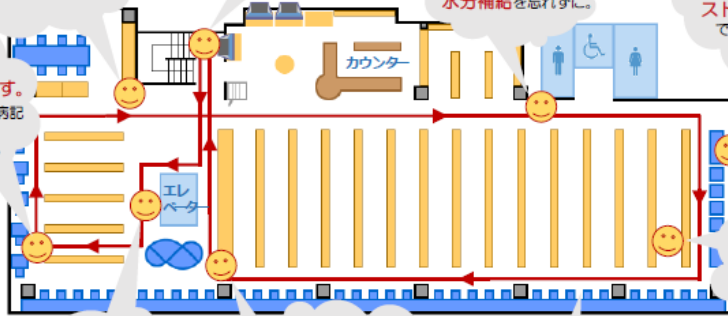
2階のお散歩はここからスタート！

「冷水機」で水分補給を忘れずに。

窓に向かって並ぶ心地よいソファでしばしのリラックス。ストレッチもおすすめです。

ふう、気持ちいい

2階健康医療情報コーナーです。医療や健康の本、病気別の闘病記や医療手記、生と死について考える本などが並んでいます。



一つの本棚の周りを歩くと25mです。

すべての本棚の間を左の図のようにくまなく歩くと2階全体で259mです。

自分の歩幅を意識していますか？エレベータ横の壁の幅は3.9mです。何歩で歩いているか数えて、壁面の表①から自分の歩幅を求めましょう。

また、表②を見て、自分の歩幅が平均より狭い/広いかを確認してみましょう。

本棚でスクワット。背の低い本棚には写真集や音楽などの大きな本が並んでいます。本のタイトルを見ながらしゃがんで歩いてみましょう。

気になる本が見つかったら、窓際でゆったり読書でもいかがでしょう。

### 2階のまとめ

→ : 106m  
階段 : 27段 (20m)



書角類も充実しているなあ...

## ＜今後の課題＞

### これまでいただいたつながりを財産に

- ・市内関係課との協働
- ・横浜市立大学がんプロHPとの連携
- ・がん相談支援センターとの連携を深めたい

### 資源を資源とするために

- ・丁寧な選書
- ・職員の研修





ありがとうございました。

